

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	★	単位 1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I		授業期間 通年

担当教員(代表) : 早渕千加子他担任	共同担当者 : 1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根
---------------------	---

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）
 ・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

【授業計画】

1. マーケットリサーチ (1コマ)
波多野 春美 先生
2. トータルコーディネーションとは・・・ヘア・メイクについて (1コマ)
夏目 幸恵 先生 斎藤 房枝先生
3. コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成 (3コマ)
高崎 利々子 先生
4. マーチャンダイニング・・・ (1コマ)
未定
5. ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について (1コマ)
未定
6. 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け (3コマ)
伊丹 宗友先生
7. 歌舞伎鑑賞オリエンテーション (1コマ)
窪寺 祐司 先生
8. ニッセンケン安全服・・・子供服 (1コマ)
滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生
9. 下着の知識・・・下着の歴史、役割、サイズ、取扱いについて (1コマ)
増田 亜紀子 先生 小林 知美先生
10. ニットデザインについて (1コマ)
未定
11. パタンナーについて (1コマ)
依田 聖彦
12. 学生生活について (2コマ)
野町 一成 先生

評価方法・対象・比重

評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

プリント他

授業の特徴と担当教員紹介

下着メーカーによる下着の知識の講義、品質評価センターによる安全服（子供服）の講義、企業での企画経験によるマーケットリサーチ、マーケティングの講義、企業の社長によるマーチャンダイジングの講義、ブランドデザイナーによるファッション業界の現状についてやデザインについての講義、着物デザイナーや舞台企画企業による日本の装束や歌舞伎の知識解説や着装実習、パターンナーによる企業におけるパターンの解説など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者署名欄

早渕 千加子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位 1
科目コード 904510	科目名 キャリア開発 I	授業期間 通年

担当教員(代表)：早渕千加子他担任、
森 薫子、井浦 つくし

共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増
6-田中・7-山根
森、井浦

【科目概要】

- ・人材育成のための講義と進級に関する講義で構成する。
(キャリアに関しては別紙参照)
- ・新しい環境の中で社会人と学生の違いを認識し、将来の進路を考えるきっかけを作る。また、コミュニケーション能力を高め、自分という存在について考え成長できる『人間力』の育成を目指す。
- ・各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。

【授業計画】

キャリア開発 I 後期集中7コマ
別紙参照

オリエンテーション2コマ
進級相談・上級教室見学5コマ

評価方法・対象・比重

評価基準： 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

キャリア：プリント

参考図書

なし

その他資料

各種参考資料他

授業の特徴と担当教員紹介

企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

企業の社員研修企画・インストラクター実務担当等の経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

記載者署名欄 早渕 千加子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12302	科名 アパレル技術科 2年	★	単位	2 単位
科目コード 980020	科目名 特別講義 II		授業期間	通年

担当教員(代表)： 三田 清美	共同担当者： 朝生 麻沙美
-----------------	---------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・レギュラー授業で包括できない部分の専門知識、専門分野の講義、実技指導、実習を行う。
- ・生産技術の専門性を高める。
- ・業界や職務に関する理解を深め、就職への意識を高める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、アパレル企業における接着芯地（技術指導）1コマ（前期）
- 2、生産技術（企業における縫製テクニック）10コマ（前期）
- 3、現代ファッショントピック 1コマ（前期）
- 4、パターンメーキング検定3級対策 2コマ（前期）
- 5、OEM、ODMの現状（マツオカコーポレーションの取り組み） 1コマ（前期）
- 6、パターンナー・生産管理者の役割（就職にむけて、各職種の役割について） 1コマ（前期）
- 7、ポートフォリオ講座（ポートフォリオ作成） 1コマ（後期）
- 8、業界研究（マーケティング基礎） 1コマ（後期）
- 9、帽子の一般知識 7コマ（後期）
- 10、アパレル企業におけるパターンメーカーの業務（パターン技術と知識） 4コマ（後期）

評価方法・対象・比重

履修認定 (P表示)

評価基準：出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント等

授業の特徴と担当教員紹介

芯地の製造販売企業による新・テープの技術指導、サンプル縫製企業による縫製テクニック指導、OEM形態の総合アパレルメーカーによるOEM、ODM生産の現状の講義、アパレル企業のパターンナーによるパターンナー・生産管理者の役割の講義、帽子デザイナーによる帽子制作技術の実習など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 三田 清美

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード	12302	科名	アパレル技術科 2年	単位	1~3 単位
科目コード		科目名	企業研修・学内研修 a・b・c	授業期間	後期(集中)
	940105, 940106, 940107				

担当教員(代表) : 三田 清美	共同担当者 : 朝生 麻沙美
------------------	----------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・企業研修ではファッショング産業界の各分野において実際に職業体験を行い、職業人として役立つ人材の育成と就職に向けての意識を高める。
- ・企業研修に参加しない学生は学内研修を行い、ビジネス常識と専門分野の実務について学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

企業研修・・・企業の業務概要と研修部門での業務について指導を受け、補助的な仕事に従事する。

(1週間~3週間)

学内研修・・・ビジネス常識と専門分野での実務について学ぶ。

研修期間中は業務日誌等を作成記録し資料としてまとめる。

終了後に研修報告会を行い、レポートを作成する。

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示)

評価基準:出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 前年度レポート

授業の特徴と担当教員紹介

各企業において、ファッショング産業界の各分野において実際に職業体験を行う。

学内研修においては、各企業やアパレル業界で働いている方々より、ピンワーク実技実習、商品企画カラー戦略、

〇ＥＭ講義、ディスプレイ実習など、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 三田 清美

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 12302	科名 アパレル技術科 2学年	単位 1
科目コード 904520	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間 後期

担当教員(代表)： 東條 文千代

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

- ・学生が就職を志望する先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 職業観・勤労観(…講義2コマ)

就職活動の進め方/働くことの意義、職業人の心構えの理解

2. 言葉遣い(…講義+実習=1コマ)

正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話の習得

3. 電話・Eメール(…講義+実習=1コマ)

電話のマナー、Eメールのマナー

4. 会社訪問・店舗見学(…講義+実習=1コマ)

会社訪問と店舗見学のポイントと注意点を理解

5. 自己分析・キャリアプラン(…講義+実習=1コマ)

自己分析、自己PR/志望動機のポイントを理解

6. 履歴書・エントリーシート(…講義+実習=1コマ)

選考を通じる履歴書・エントリーシートのポイントを学ぶ

7. 面接(…講義+実習=2コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

8. グループディスカッション(…講義+実習=2コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

9. 作品プレゼンテーション(…講義+実習=2コマ)

プレゼンテーションスキル向上と試験対策

10. 内定から入社まで(…講義1コマ)

内定承諾書、内定辞退など、内定に絡む注意事項を理解

評価方法・対象・比重

- ・出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度

主要教材図書

「就職対策」(キャリア支援室)

参考図書

特になし

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

百貨店での販売員教育や社員教育・人材教育・社会人教育の実施・人事コンサルティング等の経験をもとに、就職力を身に着けるための講義および実習を実施

記載者署名欄 東條 文千代

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 12313 科名 アパレル技術科3年 生産システムコース	単位 2 単位
科目コード 402100 科目名 CADグレーディング	授業期間 通年 ()

担当教員(代表) : 高津 由規子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレルCADグレーディングの概要の理解と、基本的操作の習得

簡単なアイテムをCADグレーディング出来るレベルまでを目標とする

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	CADグレーディング概論	16	CADグレーディング演習 ブラウス
2	CADグレーディング演習 スカート	17	CADグレーディング演習 保存ルールの意味と活用
3	CADグレーディング演習 スカート	18	CADグレーディング演習 ワンピース
4	CADグレーディング演習 スカート	19	CADグレーディング演習 メジャールールと補助ルール
5	CADグレーディング演習 スカート	20	CADグレーディング演習 ジャケット
6	CADグレーディング演習 タイトとフレアーの違い	21	CADグレーディング演習 ジャケット
7	CADグレーディング演習 サイズピッチ・特別ピッチ	22	CADグレーディング演習 ジャケット
8	CADグレーディング演習 2種類のノッチの違い	23	CADグレーディング演習 ジャケット
9	CADグレーディング演習 パンツ	24	CADグレーディング演習 ジャケット
10	CADグレーディング演習 キュロット	25	CADグレーディング演習 ジャケット
11	CADグレーディング演習 ブラウス	26	グレーディング試験対策
12	CADグレーディング演習 ブラウス	27	グレーディング試験
13	CADグレーディング演習 ブラウス	28	
14	CADグレーディング演習 ブラウス	29	
15	CADグレーディング演習 長さ管理	30	

評価方法・対象・比重 評価基準 学業評価 50% 授業姿勢 50%

前期はテストを行わず、授業内のプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価

後期は実技テストを行うと共に、授業内のプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業におけるCADパターン技術経験をもとに、アパレルCADグレーディングの概要と基本的操作の演習授業を実施

記載者氏名

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 12313	科 名アパレル技術生産システム3年	★	単 位 28
科目コード 102300	科目名 ニット生産実習		授業期間 2019.4.17~2019.7.24

担当教員(代表) : マレイ(有) 西川 真令、	共同担当者 : マレイ(有) 中川絵里奈
--------------------------	----------------------

教育目標・レベル設定など 丸編みカットソーの縫製とパターンの基礎的知識と応用 美しいシルエットを作る立体裁断のパターンと実践指導。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 講義と実習内容 丸編みのニットジャージー素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得 美しいシルエットの基礎知識を立体裁断で取得 パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導。 カットソー丸編み概論・・・丸編みを中心としたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識の取得。 パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える 立体パターンの基本知識・・・ダーツ無しの美しいシルエットパターンの習得 人間工学に沿った着やすい作図 工業パターンの習得と高級感のある縫い方指導をもって教える。 針を使かないで縫い上げる・・工場管理の常識 マチ針無しで縫い上げる縫製指導 インクジェットプリントのカットソーと綿糸縫い製品染めのポロシャツ アウター、インナー、スポーツウェア、水着など就職拡大・・・カットソーの広がりから下着やスポーツウェアにも関心を持たせ 製品作りで自信を持たせ就職先を広げるようする。 ファスナーあきパーカー、編みたてポロ・・流しのW付けリブと編みたてSリブの使い方の理解 オープンファスナーや多彩なポケットの作り方、衿折伏せ等高級感の服作りの指導
--



評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書 洋書、ネット各種情報

その他資料 パリコレ等のサンプル縫製した素材や海外の資料参考見本とする

授業の特徴と担当教員紹介 アパレル企業での業務経験やデザイナーブランドの丸物縫製業務企業経営等の経験をもとに、丸編みカットソーの縫製とパターンの基礎知識と応用、美しいシルエットを作る立体裁断のパターンと実践指導を実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313	科名 アパレル技術科3年 生産システムコース	単位 2 単位
科目コード 402020	科目名 CADパターンメーキングⅡ	授業期間 通年 ()

担当教員(代表) : 高津 由規子

共同担当者 :

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレル業界の企画【設計】において必須であるCADシステムを利用し、基本を学びながら考え方・手法・方法・管理の理解を深めつつCAD操作が出来るようになる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・基本操作	16	応用パターンメーキングVer. 5-1 パンツシルエット
2	応用パターンメーキングVer. 1-1 ヨーク切り替えSK	17	応用パターンメーキングVer. 5-2 パンツ
3	応用パターンメーキングVer. 1-2 製品図 ジャケット	18	応用パターンメーキングVer. 5-3 パンツ製品図縫製仕様書
4	応用パターンメーキングVer.2-1 スキナー.	19	応用パターンメーキングVer. 6-1 コートシルエット
5	応用パターンメーキングVer. 2-2 スキナー コート	20	応用パターンメーキングVer. 6-2 コート袖
6	応用パターンメーキングVer. 2-3 コート裏地	21	応用パターンメーキングVer. 6-3 コート裏地
7	応用パターンメーキングVer. 2-4 コート裏地	22	応用パターンメーキングVer. 6-4 コート製品図縫製仕様書
8	応用パターンメーキングVer. 2-5 コート修正	23	オリジナルパターンメーキング.
9	応用パターンメーキングVer. 3-1 ジャケットシルエット	24	オリジナルパターンメーキング.
10	応用パターンメーキングVer. 3-2 ジャケット袖	25	オリジナルパターンメーキング.
11	応用パターンメーキングVer. 3-3 ジャケット裏地	26	メーキング試験対策
12	応用パターンメーキングVer. 3-4 ジャケット裏地	27	メーキング試験
13	応用パターンメーキングVer. 4-1 ブラウスシルエット	28	
14	応用パターンメーキングVer. 4-2 ブラウス 袖	29	
15	応用パターンメーキングVer. 4-3 ブラウス製品図	30	

評価方法・対象・比重

評価基準 学業評価 50% 授業姿勢 50%

前期はテストを行わず、授業内のプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価

後期は実技テストを行うと共に、授業内のプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業におけるCADパターン技術経験をもとに、アパレル業界の企画（設計）において必須であるCADシステムの基本を学びながら、考え方・手法・方法・管理の理解を深めつつCAD操作の演習授業を実施

記載者氏名

2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12303	科名 アパレル技術科3年・生産システムコース	単位	単位1
科目コード 401400	科目名 生産管理各論 品質管理	授業期間	後期

担当教員(代表) : 大嶋 敬三	共同担当者 : 坂田 候晋
------------------	---------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と、実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	.品質管理とは? ・アパレル、小売り各社の品質管理の考え方 ・アパレル製品の企画から販売まで	16	
2	繊維の種類と特性 ・各種繊維の種類や特性、染色について ・織物・編物の特性と物性について	17	
3	繊維製品の品質評価 ・染色堅牢度、寸法変化率、物性の各試験と評価方法 ・機能素材の評価方法 ・検査結果を製品づくりに活かす	18	
4	アパレル業界に関連する法律(表示関連)について ・家庭用品品質表示法と取扱い絵表示 ・景品表示法 ・表示〇×クイズ	19	
5	製品品質における安全管理 ・アパレル製品の安全管理 ・作ってはいけない、販売してはいけない製品	20	
6	繊維製品の取扱いとお客様からの苦情事例 ・着用、洗濯とクリーニング、保管 ・苦情発生時の対応と調査、再発の防止策	21	
7	生産における品質とは? ・アパレル製品に求められる品質 ・アパレル製品が作られるまでのパート別役割	22	
8	生産における品質管理① ・ルーティーンワークと品質管理 ・素材選びの品質管理	23	
9	生産における品質管理② ・海外生産の品質管理	24	
10	設計作業の品質管理 ・パターンナーの品質管理 ・設計段階で起こる問題事例と解決策	25	
11	製造工場の品質管理① ・外注担当者の実務とは ・工場選択の物差し	26	
12	製造工場の品質管理② ・外注担当者の質 ・外注指示による問題事例とその解決策	27	
13	外観検査(検品)の品質管理① ・外観検査(検品)とは ・外観検査の方法と判定	28	
14	外観検査(検品)の品質管理② ・外観検査をすることに関する注意点 ・物流の品質管理輸送、保管の品質管理	29	
15	消費者窓口の品質管理 ・お申し出における企業 ・問題に対応する心構え	30	

【評価方法】期末試験70% 出欠席15% 授業姿勢15%

主要教材図書 アパレル品質論・アパレル品質管理

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業での品質管理業務の経験をもとに、アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ授業を実施

記載者氏名 大峰 敬三

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313	科名 アパレル技術科3年 生産システムコース	単位 1
科目コード 401500	科目名 生産管理各論 製品企画	授業期間 前期

担当教員(代表)： 犬塚 賢	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
教育目標 アパレルメーカーの・設計・生産部門業務となる製品企画プロセスを考察し、技術系専門職の責務とその専門力を修得させる
レベル設定 工業製品の産出過程を専門的に捉えず、一般論として学生が受け入れられ理解出来る講義内容を設定

コマ	内 容	コマ	内 容
1	・アパレルメーカーの3機能・商品企画部・生産部・営業販売部	16	
2	以下 アパレル製品企画（文化服装学院編 アパレル生産講座）	17	
3	1章 市場とMD像 MDに関する生産技術系職種と業務	18	
4	2章 商品企画実務・前年同期分析・顧客ターゲット・営業サイクル	19	
5	2章 商品企画実務・ファッショントレンド情報・マーケットイン・プロダクトアウト	20	
6	2章 商品企画実務・マーケティング・4P活動（価格 製品 広告 小売）	21	
7	2章 商品企画実務・商品構成と生産数量・素材情報・原価計算	22	
8	2章 商品企画実務・材料計画・生地データ・仕入れ・展示会	23	
9	2章 商品企画実務・販売計画・販売会議・販売予算・生産計画	24	
10	3章 品質設定・総合品質・企画品質・設計品質・製造品質・顧客品質	25	
11	4章 製品の調達方法・調達概要・自社・下請け・委託・製品仕入れ	26	
12	5章 公的ルール・家庭用品品質表示法・組成・原産国表示法	27	
13	5章 公的ルール・知的所有権・特許権・商標権・意匠権	28	
14	5章 公的ルール・日本工業規格・製造物責任法・ISO	29	
15	アパレル製品企画総括	30	

評価方法・対象・比重 S～C・F評価 学業評価100%（グループワーク50% レポート50%）

主要教材図書 アパレル製品企画（文化服装学院編）
参考図書

授業の特徴と担当教員紹介 アパレル企業における企画生産部門の経験をもとに、アパレルメーカーの設計・生産部門業務となる製品企画プロセスを考察し、技術系専門職の責任とその専門力を習得させる授業を実施
--

記載者氏名 犬塚 賢

2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313	科名 アパレル技術科 3年 生産システムコース	単位 2 単位
科目コード 401300	科目名 生産管理各論 製造企画	授業期間 前期・後期

担当教員(代表) : 中村 宏

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

到達目標 :アパレル製造は、グローバルサプライチェーンの中で各国地域がその工程を担っている。この現状を把握し、アパレル製造の機能と製造方法を理解する。また、日本のアパレル生産の現状を理解し、今後の取り組み課題について各自考察する。

レベル設定 :工業製品であるアパレルの製造に必要な機能と製造方法、管理方法を概念的に理解出来る程度。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	アパレル生産の現状と課題を知る。	16	アパレルの生産管理と、改善の考え方を学ぶ。
2	管理のサイクルPDCAを理解し、身に付ける。	17	IE手法の内、稼動分析の知識と技法を学ぶ。
3	世界のアパレル生産の現状と発展過程を知る。	18	IE手法の内、工程分析の知識と技法を学ぶ。
4	日本のアパレル産業の発展過程と現状の課題を知る。	19	IE手法の内、動作時間研究の知識と技法を学ぶ。
5	各国のアパレル生産の実情と動きを知る。	20	IE手法の内、標準時間とPTS法の知識と技法を学ぶ。
6	工業用ミシンの種類と機能・性能を知る。	21	縫製部門の量産方式としてモジュール生産を知る。
7	アパレル生産に必要な各種設備と工場条件を知る。	22	合理的な工場レイアウトと設備配置について学ぶ。
8	最新の専用機・自動機などを実際に見て学ぶ。	23	多品種少量生産での課題となる生産・品質低下を知る。
9	最新の専用機・自動機などを実際に見て学ぶ。	24	アイテムやロットに応じた縫製システムを学ぶ。
10	縫製に利用するアタッチメントの種類と実例を知る。	25	アパレル製造部門での品質管理活動と検査を学ぶ。
11	アパレル生産の基本である人体計測/サイズ規格を学ぶ	26	アパレル設計部門での品質管理活動を学ぶ。
12	縫製企業の現状・見方を学び、工場を知る。	27	アパレル製造での納期管理方法を学ぶ。
13	アパレルの設計・製造過程を知る。	28	縫製の技能教育と作業指導方法を学ぶ。
14	素材や縫製工程で発生する不良と対策を学ぶ。	29	
15	縫製部門の各種生産方式の概要を学ぶ。	30	

【評価方法】

2/3以上の出席、授業態度、ミニテスト、レポート、試験成績などを総合的に評価する。

主要教材図書 配布資料、アパレル生産講座⑫アパレル製造企画

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ミシンメーカーでの縫製工場のシステム構築等の経験をもとに、グローバルサプライチェーンの中で各国地域がアパレル製造工程を担っている状況を把握し、アパレル製造の機能と製造方法を理解し、日本のアパレル生産の現状を理解し、アパレルの製造に必要な機能と製造方法、管理方法を概念的に理解できる授業を実施

記載者氏名 中村 宏

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313 アパレル技術科 3年 生産システムコース	単位	2 単位
科目コード 504700 グラフィックワーク（生産企画）	授業期間	（通年）

担当教員(代表) : 西村元良

共同担当者 :

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリティーを高めることを目的とする。
他学科の課題制作が自由に行えるように内容を構成し基礎を固めていく。

- ドロー系ソフト/Illustrator の基礎
- ビジネスソフト/Word・Excel・PowerPoint の基本操作

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	Illustratorの基本操作の習得 1-1	16	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-4
2	Illustratorの基本操作の習得 1-2	17	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-5
3	Illustratorの基本操作の習得 1-3	18	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-6
4	Illustratorの基本操作の習得 1-4	19	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-7
5	Illustratorの基本操作の習得 1-5	20	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-8
6	Illustratorの基本操作の習得 1-6	21	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-9
7	Illustratorの基本操作の習得 1-7	22	卒業制作 課題制作練習 5-1
8	Illustratorの操作 工程分析表制作 2-1	23	卒業制作 課題制作練習 5-2
9	Illustratorの操作 工程分析表制作 2-2	24	卒業制作 卒業制作ポスター制作
10	Word & Excel 基本操作の確認 3-1	25	卒業制作 卒業制作ポスター制作
11	Word & Excel 基本操作の確認 3-2	26	卒業制作 卒業プレゼン制作
12	Word & Excel 基本操作の確認 3-3	27	卒業制作 卒業プレゼン制作
13	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-1	28	
14	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-2	29	
15	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-3	30	

評価方法・対象・比重

試験 (40%)、課題制作物 (40%)、出欠日数 (20%) の比重で行う

主要教材図書	グラフィック マスター ブック
参考図書	
その他資料 筆記用具、USB2.0 フラッシュメモリ 2.0 G 以上 (推奨)、ファイルホルダー A4 サイズ	

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業にてコンピュータープログラマー、CG デザイナーとして様々なデザインを手掛けてきた経験をもとに、様々な目的・用途に応じたソフトの利用を課題実習を通して習得する授業を実施

記載者氏名 西村元良

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313	科名 アパレル技術科 生産システムコース3年	単位 1
科目コード 607000	科目名 アパレル貿易実務	授業期間 後期

担当教員(代表) : 神場 教彰	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

- ・アパレル生産、特に海外との取引事情、流通や貿易の流れ、それに付随する経済・社会情勢などの環境についての概略を理解する。
- ・アパレルメーカーのスタッフとして業務遂行可能な貿易実務の基礎知識を習得し、関連用語を理解する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 海外生産の重要性 (講義 2コマ)

- ・日本の衣料品生産と輸出入の推移
- ・織維製品の主要国別輸入の推移

2. 貿易取引実務について (講義 8コマ)

- ・貿易の仕組みと流れ
- ・信用状の基礎知識
- ・海上貨物保険・貿易保険
- ・代金決済
- ・輸出実務
- ・輸入実務

3. 海外流通事情について (講義 4コマ)

- ・外国為替相場
- ・先物予約
- ・アパレル貿易・生産の現状

評価方法・対象・比重

出席による評価 80% 課題提出物(ワーク) 20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 私製資料配布

授業の特徴と担当教員紹介

海外企業でのデザイナーやアパレル企業経営の経験をもとに、アパレル生産の特に海外との取引事情、流通や貿易の流れ、それに付随する経済・社会情勢などの環境についての概略を理解し、アパレルメーカーのスタッフとして業務遂行可能な貿易実務の基礎知識を習得し、関連用語を理解する授業を実施

記載者書名欄 神場 教彰

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313	科名 アパレル技術科 3年 生産システムコース	単位 1単位
科目コード 980030	科目名 特別講義 III	授業期間 通年

担当教員(代表)： 宮澤 国博	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・アパレルの生産プロセス全般についてさらに専門知識を深める

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 「セルフプロデュース論」 (1コマ)
Aoi 氏 インプレッションスタイルスト Aoi Style 代表
2. 「織維商社の役割について」 (2コマ)
豊島株式会社
3. 「業界で働くために必要な知識や心構え」 (1コマ)
繁田 亜希 氏 CHERIE デザイナー
4. 「モデルリストの技術」 (2コマ)
稻荷田 征 アトリエイナリダ代表
5. 「日本のものづくりの現状と未来」 (1コマ)
辻 康介 氏 辻洋装店代表取締役
6. 「東京 2020～スポーツウェアの商品企画～」 (1コマ)
羽田 武幸 氏 デザインオフィス スラッシュ
7. 「ミシンアタッチメントの製作」 (2コマ)
内藤 勇 氏 内藤アパレル研究所
8. 「既製服のプリント加工について」 (1コマ)
飯塚 有葉 氏 文化服装学院専任講師
9. 「半分解展から探るパターンの歴史 250年」 (2コマ)
飯塚 有葉 氏 文化服装学院専任講師
10. 「素材による染色特性について」 (2コマ)
篠原 幸子 氏 文化服装学院非常勤講師

評価方法・対象・比重

出席状況により P評価

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

インプレッションスタイルによるセルフプロデュース論、織維商社による織維商社の役割について、企画デザイナーによるスポーツウェアの商品企画、モデルリストによるモデルリスト技術の実習講義、洋装店のアトリエ見学および講義、企業パターンナー経験者によるパターンの講義など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 宮澤 国博
